



第123回拡大地方委員会が2月25日13時より地本事務所で開催されました。

加藤副委員長の開会あいさつでスタートしました。資格審査委員会から13時現在、委員10名中8名の出席を確認、委員会が成立したことが宣言されました。

議長選出では三浦委員が選出されました。その後、斎藤委員長のあいさつ、国労東日本本部から渡辺執行委員からあいさつがありました。

## JAL闘争の取り組み

○ J A L闘争の取り組みで全国一斉宣伝行動が企画されました。日程は5月です。

場所は新潟空港前で街頭宣伝行動を実施します。具体的に決まりましたらお知らせします。



**議長・三浦委員を選出**

福富書記長から運動方針案の提起があり、質疑討論ではすべての委員からの発言、傍聴者からも発言がありました。

○ 65歳を過ぎてロジのプロパーで働いている。業務は一般的に違っている。人間性をつぶすような労働環境だ。高齢化が進んでいるが新採者が入っていない。



**国鉄新潟では、質疑・討論での発言内容を中心に編集しました。**

職場の問題点や冬期の関係、職場の労働環境など厳しい実態が報告されました。

# 職場の労働条件改善



NO. 907  
発行  
2017年  
3月10日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
斎藤 仁司  
編集責任者  
教宣部

## 第123回拡大地方委員会 2月25日開く



● 「ときめき」に出向していた。現在、長岡運輸区。要員はプラスになっていて、129系で冬期、前面ガラスが破損して乗務員から乗組となっている。ワンマン運転の解除を要求。

○ 65歳を過ぎてロジのプロパーで働いている。業務は一般的に違う。人間性をつぶすような労働環境だ。高齢化が進んでいるが新採者が入っていない。

○ 北海道で貨物列車が脱線した。機関車DF200だ。台車のZリンクの全国一斉点検がはじまった。貨物は要員不足だ。ダイ改、年度末事業が提案された。ロジの業務が直営に戻るが要員は増えない。今年は新採者を採用する予定で職場に配属される。

## 要員が足りない

○ 年度末事業で庁舎の清掃や部品などの洗浄が直営に戻る。検修が基本作業を行う。要員は増えていないが直営に戻す。現場長は検査期間を延ばして作業をして欲しい、状況を見て判断すると言っている。

乗務員の定数について、塩尻機関区は要員が足りない。関西支社から仕事を廻しているが足りない。

新潟から転勤した社員を充当するが要員が足りていない状況だ。

ダイ改で提案するには定員数がなっていない。新潟についてはどうか、定員数は会社は言わない。

職場では乗務員が6人の予備があると言っている。現在5人しかいない。一人は転換教育中だ。波動要員についてどう考えているのか。

職場では乗務員が6人の予備があると言っている。現在5人しかいない。一人は転換教育中だ。波動要員についてどう考えているのか。  
ストライキを背景にした闘いを開発することによって要求が前進すると考える。ストについて議論AXを取り組む。

17 春闘「労働条件改善の署名や本社社長への要請ハガキ行動を取り組んでいる。社長宅への要請FAXを取り組む。



障がいを持つた方々が列車に乗る場合など具体的な指示が支社から無い。乗車から降車への連絡体制がルール化していない。要員を配置すること。  
 ○酒田からアルソックへ出向、勤務が厳しい状況になっている。車両故障が発生し新潟で対応できず車両の運用ができない状況になっている。

●3月1日から1年間の休職に入る。その後、退職する。見附駅が委託化された。加茂駅や亀田駅が委託化の提案がされた。JNB移行時に事務所など整理について要求を出した。制服の切り替えは前々日に現場に制服が到着したが、サイズが合わない。全員が合わなかつた。サイズの企画が違つていていたためだ。

現在、新津駅にいる。若手がいたが車掌へ、現在5人だ。異常時の対応について厳しい労働環境だ。発車表示(LED)の操作調整が難しい。そして無人駅への放送などあり作業するには不可能だ。蕨駅の転落事故、事故が発生してから声かけ運動が実施されている。

## 駅の委託化が 労働強化になつている



# 統一メーテー

## 5月1日 県民会館

●越後線レールの亀裂が発見された。4時間運転見合わせ。要員を増やすことと若手の技術継承を要求する。復旧に手間取った。管理者のレベル低下だ。4時間列車を止めた。大学入試センター試験当日に運転が発生した。雪の影響、この対応について後手後手になつていて、290本の列車を運休させた。

そんなに列車を止めなくとも良いと考える。対策本部の位置づけ、現場はどうなのか、対策を。

障がいを持つた方々が列車に乗る場合など具体的な指示が支社から無い。乗車から降車への連絡体制がルール化していない。要員を配置すること。  
 ○酒田からアルソックへ出向、勤務が厳しい状況になっている。車両故障が発生し新潟で対応できず車両の運用ができない状況になっている。

## 労働条件を提示させる



○中越事務所のその後の経過は? エルダーの出向が開示される。人事課が本人に面談。提示内容は、日本通運の配達センター(グループ会社ではない)への受け入れ。どんな労働条件なのか分からぬ。イメージが無い。

ジャステック・警備会社は勤務地がどこの店舗か分からぬ状況だ。この状況では判断できない。労働条件を示して欲しい。出向先について差別がある現状だ。公的に雇用について実施されているが労働条件について

いては明確に本人に提示させること。高齢者を救済していく方向で進めていく。

出向は65歳まで会社に再雇用の義務がある。エルダー先を自分で探すのは可能なのか。申し出る機関、窓口はあるか。自分で開拓する方向でどうなのか。

安全・安定輸送、列車乗務時、着発30秒、乗務員の交換は1分30秒だ。

休日が増えた分NTSも増やして欲しい。グループ会社の労働実態について調査し一覧表にまとめて欲しい。

## 寮の問題

○寮の問題、結婚したので寮を出ようと言われた。結婚すると寮から出ることになるが奥さんは新潟で仕事を持つてるので離れ離れになる。そのため寮に入り続けたい。



●職場の現状、出向して11年。プロパーで限定免許を得て信号担当は限定免許者を担当にさせるため教育をしている。2人増。限定免を2人要請する。エルダーの希望地について1月に

30秒ではできない。時刻表の見直しを要求。停車時分の確保で着発は45秒にして欲しい。

6つの確認作業がある。少しづつ増えている。30秒ではできない。時刻表でやられた。運用できない。ディスクブレーキが凍結する。石打や柏崎へ派遣し凍結解除を行つた。115系は無い。雪がついている時、気温がマイナスで風があると凍結する。Pan舟が下がらない、フックが悪い。Pan舟の天井管にフックがかからなくなる。129系は小雪でも動かなくなる。トルクが弱い、トルクが無い。

●拡大地方委員会は全体で23名が出席しました。次号はキャラバン行動など編集し企画します。

## 129系電車・雪に弱い

面談を実施。出向についての面談だつた。1月に紹介され同じ出向場所となつた。来年60歳の社員に村上駅を提示された。

129系、車両が変形して使用できない。車両で修繕してからにする。NTSは年間休日は105日、休日が増えた分NTSも増やして欲しい。グループ会社の労働実態について調査し一覧表にまとめて欲しい。



◎拡大地方委員会は全体で23名が出でました。次号はキャラバン行動など編集し企画します。